

Course number		U-LAS01 10001 LJ38					
Course title (and course title in English)	日本史 I Japanese History I			Instructor's name, job title, and department of affiliation	Graduate School of Global Environmental Studies Professor,TAKASHINA ERIKA Institute for Research in Humanities Associate Professor,FUKE TAKAHIRO Institute for Research in Humanities Assistant Professor,IKEDA SANA E		
Group	Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		History and Civilization(Foundations)		
Language of instruction	Japanese		Old group	Group A		Number of credits	2
Number of weekly time blocks	1	Class style	Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters	2025・First semester	
Days and periods	Mon.2		Target year	All students		Eligible students	For all majors
[Overview and purpose of the course]							
日本の近代とは、ほぼ19世紀から20世紀前半の時期にあたる。江戸後期には鎖国状態ではあったものの少しずつ海外からの情報も入ってくるようになり、明治維新を境に日本は大きく西洋に向かって門戸を開くことになる。このように日本が現代につながる大きな変革を成し遂げた時期、社会や文化はどのように変化したのか、皇室財産、美術、その他のテーマについて、「開化」と「変革」の観点から考える。							
[Course objectives]							
近代の最も大きな変革期であった明治期の社会と文化について歴史史料と視覚資料にもとづいて理解し、日本の近代史についての幅広く多様な視点の獲得をめざす。							
[Course schedule and contents)]							
3名の講師が日本の近代史に関連するそれぞれのテーマで各4～5回の講義を行う。							
<p>1．テーマ：美術と明治維新 担当：高階絵里加 開国後、はじめて本格的な西洋芸術の技法や概念に遭遇し大きく変化した日本の美術について、江戸から明治への社会の移り変わりとして西洋画法とのあい、開国と美術、明治前期の洋画、洋画の発展と伝統復興、等のテーマをとりあげ、絵画を中心にスライドで具体的な作品を見ながら考える。</p> <p>第1回 江戸から明治へ 西洋画法とのあい 第2回 開国後の美術 蕃書調所から初期の渡欧画家たちへ 第3回 工部美術学校と明治中期の渡欧画家たち 第4回 伝統復興運動と東京美術学校、洋画の発展と主題の模索</p> <p>2．テーマ：日本近代と文明開化 担当：福家崇洋 幕末から近代初期における日本文化の諸相に焦点をあてて近代化の内実について考察する。西洋化をめぐる相剋を縦系、同時代の社会的状況を横系として、両者の交錯のなかから日本文化の変容と定着を、歴史資料、視覚資料を用いて具体的に明らかにしていく。</p>							
Continue to 日本史 I (2)							

日本史Ⅰ(2)

- 第1回 日本近代と「文明開化」(1)
- 第2回 日本近代と「文明開化」(2)
- 第3回 日本近代と「文明開化」(3)
- 第4回 日本近代と「文明開化」(4)
- 第5回 日本近代と「文明開化」(5)

3. テーマ 近代日本における皇室財産の形成 政治史研究の手法を用いて

担当：池田さなえ

天皇を中心として新しい国家づくりを行う明治政府において、法制度や行政機構の整備などと同様かそれ以上に課題とされていたのは皇室制度の整備であった。特に、皇室の様々な活動を支える皇室財産の確立は急務であった。皇室財産はいかなる主体のいかなる意図のもとに形成され、そしていかにして運用されていたのか。本授業では、皇室財産の中でも明治20年代にのみ存在した御料鉱山に着目し、政治指導者たちの試行錯誤の過程を、彼らが残した書簡や日記などの文字史料から読み解いていく。

- 第1回 皇室財産研究の到達点と課題
- 第2回 佐渡・生野御料鉱山の設定と御料鉱山事業の開始
- 第3回 御料鉱山事業の方針転換
- 第4回 御料鉱山事業を支えたもの 法制度的条件を考える
- 第5回 御料鉱山世伝御料化計画から御料鉱山払下げへ

[Course requirements]

None

[Evaluation methods and policy]

定期試験 論述式解答。
持ち込みは不可。

[Textbooks]

Instructed during class

[References, etc.]

(References, etc.)

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

授業中に別途指示する。

[Other information (office hours, etc.)]

受講人数は教室定員を上限とする。
定員を超えた場合には無作為に抽選を行う。

[Essential courses]